

2009年度

科目名	文化財学課題研究(仏教文化の研究)			
担当教員	梯 信暁			
配当	文修1・文博1		コード	13780
開期	通年	講時	月曜日3限	単位数 4
授業テーマ	日本浄土教の研究			
目的と概要	奈良時代から鎌倉時代までの日本浄土教の展開を概観します。各時代を代表する著述を紹介し、その撰述意図を明らかにすることが目標です。紹介する著述は、時代をリードする、ずば抜けて進歩的な思想を示すものですが、その著者を支えていたのはあくまでもそれぞれの時代を流れる「思潮」だったと言えます。仏教学の方法を用いて教理の構造を解明するとともに、歴史学・文学・美術史学などの方法を取り入れて時代の「思潮」を求め、各文献が著された必然性を求めてゆきます。			
成績評価法	授業中の発表・課題レポート			
テキスト	プリントを配布します。			
参考書	梯信暁『奈良・平安期浄土教展開論』			
履修に当たっての注意・助言				
講義計画				
1.オリエンテーション:講義の目標と内容の概説 2.浄土教概論 3.奈良時代の浄土教:時代の概観 4.智光『無量寿経論釈』の特徴 5.智光の念仏思想 6.平安初期の浄土教:常行堂と不断念仏 7.平安中期の浄土教:摂関貴族の信仰 8.良源の活動と著述 9.良源『九品往生義』の念仏思想 10.千観伝の新資料 11.千観『十願発心記』の特徴 12.禅瑜の立場 13.禅瑜『阿弥陀新十疑』の諸問題 14.源信の活動と著述 15.源信『往生要集』の組織 16.源信『往生要集』の念仏思想 17.源信『往生要集』の諸問題 18.院政期の浄土教:来迎信仰の展開 19.『安養集』の成立 20.『安養集』と『往生要集』 21.『安養集』研究の意義 22.天台宗における浄土教義科の形成 23.永観の活動と著述 24.永観『往生拾因』の諸問題 25.珍海の活動と著述 26.珍海『決定往生集』の諸問題 27.法然の生涯と著述 28.法然教学の特徴1 29.法然教学の特徴2 30.まとめ				